

2023年度（令和5年度） 事業報告書

2024年2月

滋賀県大津市大萱六丁目1

総合型地域スポーツクラブ

特定非営利活動法人瀬田漕艇倶楽部

代表理事 田中 彰



2023年5月 全日本選手権

[1] 2023年度活動報告

1 特定非営利活動

2023年度定期総会にて以下の目標を掲げ、年間活動に取り組んだ。

1. 全体 倶楽部の理念に沿って創立50周年記念事業の実行委員会をスタートさせる。特にFurukawaHouseを始めとした倶楽部施設の再編を検討し、倶楽部施設の近未来像を会員一丸となって作り上げる。また世代を超えた会員間の交流や他団体との交流を一層活発化し、昨年は実現できなかった若い世代の新規入会、および選手（シニアチーム）の充実を全力で目指す。新たな事業計画や倶楽部運営体制についても積極的なブラッシュアップを進め、財務関係では昨年に引き続き法人賛助・賛助会員の拡大策を目指すなど、将来を見据えた財務基盤を再構築する。
2. 安全 (1) 安全規則の随時見直し（初版2005年）。
(2) 安全講習会実施、沈回復の練習会の実施。
(3) インシデント・アクシデントレポート作成の推進。
3. 保全 クラブの設備・備品はクラブ員全員の持ち物であるということをあらためて認識してもらい、整理整頓・整備・修理が皆で行えるような仕組みづくり・環境づくり・情報共有の在り方を模索する。
4. 施設 不具合箇所の補修対応、備品更新、建屋外構の整備計画検討。
5. 事務 各担当者との連携による円滑な事務作業。事務局のあり方検討とより良い倶楽部運営への貢献策
6. 特別 びわこ市民レガッタの参加者100クルー(500人)以上。地元企業、自治体、自治会から募る。Head Of The Setaの参加者600人以上。各ボート団体への個別交渉。
7. 普及 ボート・ドラゴンボート・カヌーの体験教室をクラブ全体で運営し、年200人を目標とする。新たな普及活動を検討・実行していく。
8. 収益 倶楽部独自の施策にて年間50万の収益確保に取り組む。
新たな収益財源確保に向けて知恵を募る。
9. 財務 会計フローの整理・定着化。各理事との連携を強化する。
10. 広報 月一回の確実な会報発行。
11. 活動 倶楽部運営収支96万円、NPO事業収支290万円、収益事業収支20万円の計310万円の現金収支を確保するため、各方面での工夫だけでなく新たな施策を計画・実行する。
選手チームは全日本選手権でのメダル獲得を目標としながらも、次世代を担う選手層のメンバー獲得にも取り組む。杉藤コーチの指導のもと、競技力強化、魅力ある選手チーム作りを一層推進する。また各種コーチセミナーや、地域および他団体との交流の機会を積極的に展開する。

【総括】

2023年度はコロナ禍を乗り越えて、再始動の1年となった。これまで倶楽部の活動に様々な自粛や制限をお願いしてきたが2019年度なみの活動再開を目指し、また新たな取り組みへの挑戦に倶楽部会員にはご負担をかけつつもご協力いただいた。その中で創設46年間の活動を評価されて、ミズノスポーツメントール賞を倶楽部として受賞し、JOC・ミズノ財団・日本スポーツ協会より表彰された。また年度始めに掲げた事業計画を会員一丸となって進めたが、以下の4点については特に素晴らしい成果であると考えている。

1点目はコロナ禍以来、2つの倶楽部事業をともに実施出来たことだ。2022年度には台風接近で中止になったびわこ市民レガッタを開催することができたこと。またHead Of The Setaでは日本学生ローイング連盟との連携で全国の大学生が混成クルーで参加してくれたこと、またJARAからの要請を受けてU23日本代表合宿への参加選考会を併催した。多くの倶楽部員が運営に参加いただいたことには改めて御礼したい。新年度も2つの倶楽部事業を一層発展させるべく、今まで以上の運営への参加、知恵・経験を結集した協力をお願いしたい。

2点目は競技活動においてシニアチーム中心に素晴らしい実績を挙げてくれたことだ。全日本選手権の男子ペア（山口・須多組）で倶楽部としては久しぶりのメダルを獲得してくれた。また西原佳選手が日本代表として国際レース2大会で優勝を飾った。今後もシニアチーム中心に切磋琢磨の環境を整え、特に若い選手の入会を推進しながら「チャンピオンクルーの育成」の取り組みを進めていきたい。

3点目は対外的な新しいアプローチを進められたことだ。春には企業社内研修をローイング体験（エルゴメーター、ナックル艇レース）として受け入れることができた。また秋には大手企業の社内レガッタの運営

を担当し、約400名の参加者を受け入れた。総合型地域スポーツクラブとして社会や地域に貢献をしながら、水上スポーツの普及推進を具現化できたことは非常に大きいと考えている。今後こうした取り組みを推進していきたい

4点目は50周年記念事業の準備が開始できたことだ。予算規模の検討を開始し、具体的な事業として候補案が上がってきた。中でも船台の改修については専門家との打ち合わせが始まり、具体的な工事概要の検討が始まった。今後については多世代から組織される実行委員会を稼働させて全体像の組み立てを進めたい。

運営的な総括として2023年度のNPO事業は社内レガッタ・研修のサポートや表彰等の要因から181万円の黒字となり財務では及第点とすることが出来た。50周年に向けた一層の資金確保は引き続き取り組みたい。一方で課題も残る。コロナ禍の影響もあり選手層を中心とした会員の新規入会が低調に終わった。倶楽部の近未来を支える人材の確保・育成を含めて次年度には継続した努力をしたい。2023年末会員数は、正会員129名（家族会員23名）、賛助会員70名。昨年度末から正会員は4名減となっている。

第18回びわこ市民レガッタ

4年ぶりに大会を開催することができた。

本年の参加クルーは総数59クルーと、コロナ禍前である2019年度開催の第14回時の91クルーには遠く及ばないが、初心者クルーからベテランクルーまで数多くの参加をいただくことができた。

また本年は参加条件を変更し、市民の部では4名（コックスなし）での参加を基本としてみたが、一部のクルーからはコックスも含めてのクルーであるとのことご批判をいただき、改めて参加基準の見直しの必要性を痛感した。そのほか、市民の部のベテランクルーのタイムがOB/OGの一般的なタイムを上回り始めており、参加者のそれぞれのスタンスで楽しんでもらえるようカテゴリー区分の再検討が必要である。

運営面では、クラブ員のご協力により富山県漕艇場からマコンオールを譲渡いただき、今後倶楽部保有のマコンオールのみで大会を運営できる目処がたつた。また本年は漕艇場が改修されて以降初の大会開催となったこともあってか、運営上の課題が散見されたので、今後これらの課題を見なおして対策を講じていきたい。

収入は81.7万円で支出は52.0万円であり、収支は29.6万円となった。これは前回開催時(2019年)の利益額38.4万円には及ばないが参加クルー数が減少している中で同等の水準を維持できたのではないかと考えている。

本年は60名のクラブ員に当日のスタッフに従事していただき、無料練習会や前日準備にも多数の対応をいただいた。しかしながら、大会当日のスタッフ数として60名はギリギリの人数であり、特に船台係の方々にはご苦勞をいただいたため、次回大会ではさらに多くの方々のスタッフ参加のご協力をいただきたい。

次回は2024年9月29日の開催を予定しているので、引き続き皆さまのご協力をお願いします。

(1)ボート等競技大会開催或いは開催支援活動

① ボート競技大会開催

第31回 Head Of The Seta

11月11.12日両日に亘り開催。2日間で延べ173クルー/514名のエントリーを集め開催。

(昨年対比 ▲24クルー/+27名 ボート+74名、カヌー▲47名)

また、今年もJARAからの依頼を受け、U23の来年度日本代表選考合宿に進むための選考トライアルも併催。加えて東京五輪代表、パリ五輪の出場国枠を獲得した荒川選手、リオ五輪、東京五輪代表の富田選手、全日本大学ボート連盟の強化合宿（瀬田合宿）に参加した全国各地の大学生の混成クルーの出漕等の話題性のあるクルーが参加。今年のHeadは男子は富田選手、女子は富田選手であった。

当倶楽部からは西原選手が富田選手との熾烈な争いの末、僅差で女子の部2位。山口選手、須多選手は混成クルーで出漕し男子フォアで2位、井上(貴)選手・松元選手が男子ダブルスカルで4位、マスターズ種目でも3種目で1位と倶楽部員の方も活躍。

開催にあたっては、倶楽部からの借艇を再開。4年振りに表彰式・懇親会を開催。荒川選手、富田選

手、西原選手によるトークイベント等を実施。倶楽部員の皆さま、選手の方々ととの久々の交流が出来た。

風が強クカヌー中心に何件かの転覆はあったが、接触事故等の大きな事故等なく無事に開催出来た。

収入：1,310千円、支出：460千円、粗利830千円

参加スタッフ 1日目：53名 2日目：44名

第32回は11月9日（土）10日（日）が開催予定。倶楽部員が2日の内1日は出場出来るようにしたい。そのためには多くの会員の方の参加、協力が必要。今回は2日目が少なく安全運営に支障をきたす可能性有。

また、準備においても多くの倶楽部員の協力が必要であり、声がかかった場合は是非ともご協力願いたい。

② ボート競技会等開催支援活動

ボート競技会等の開催支援

滋賀県県民体育大会、高校秋季総体等のボート競技会に審判を派遣した。

(2) ボート競技の指導等・普及に関わる事業活動

① セミナー・講習会の開催

2023朝日レガッタコーチセミナー兼公認スポーツ指導者義務研修会

今年度については事業を実施せず。

③ 水上スポーツ教室の開催等

初心者ボート体験教室（2023年5～11月毎月第2、4日曜日）

例年通りの体験、びわこ市民レガッタの事前練習会で多くの方に体験いただいた。

利用者はのべ145名と昨年より約30名増、会員からの紹介も多数あり、倶楽部の様子も知っていただけた。

初心者の方にはエルゴメーターによる基本動作の練習と艇の基本的な扱いを説明した後に実際に乗艇を体験してもらい、ローイングの楽しさや湖上からの眺めを楽しんでいただいた。

しかし、ドラゴンボートについては利用がなく、情報発信などが不十分であったと思う。

2024年度は更に体験を通じて水上スポーツの魅力伝え、幅広い年代の会員増につながることを期待したい。

（収入実績：2019年約22万円、2020年約7万円、2021年約6万円、2022年約8万円、2023年7万円）

ドラゴンボート体験（セタシジミ祭）

地域貢献の一つとして取り組んでいる。漁協が主催する「セタシジミ祭」での「ドラゴンボート体験コーナー」での協力について、コロナ禍により2023年までの「セタシジミ祭」は4年連続で中止となった。2024年は、令和6年4月27日(土)に開催する事で、セタシジミ祭実行委員会にて準備が進められ、祭を盛り上げるイベントとしてドラゴンボート体験コーナーへの期待も高まっている。

ジュニアボート教室（2024年3月終了）

滋賀レイクスターズとのコラボレーションで実施していた小学生対象のボート教室を一昨年4月よりレイクスターズ主催により実施。当倶楽部は用具、場所の提供のみとなる。土曜日午前中には小中学生向け、月曜日、木曜日夕刻より中学生向け教室開催。2024年3月末まで実施。

収入実績：2022年 510千円、2023年 598千円

(3) 水上スポーツ活動の支援

安全管理に関する活動

① 安全講習会の開催（5/28） 出席者計34名

実際に琵琶湖で起きた事故を元に、安全なクラブ活動を再度呼びかけ。

琵琶湖における航路の確認と瀬田川航行ルールの確認。

特に水管橋付近の航行について詳細を再確認。

- ② 沈回復練習会（5/8・7/3）については有志による実施。
- ③ 琵琶湖漕艇場からの注意喚起メールを会員に転送。
→瀬田川及び琵琶湖での工事や藻刈り作業、及び洗堰の全開放流時の連絡。
- ④ 水上事故のフォロー
- ⑤ AEDの作動点検と部品交換

安全講習会

県ボート協会主催の安全講習会にリモート団体参加。（12/10）
フルカワハウスにて26名参加

アクシデント・レポートの作成（随時）

【アクシデントレポート】

1. 水上、陸上を問わず、漕手舵手が負傷した事故
2. 水上において他艇あるいは他物との衝突及び接触
3. 艇の沈没
4. 損害の有無を問わず、外部の救助を仰いだ事故

【インシデントレポート】

1. 上記4項目に準じる事故、及び、事故の一手手前で
「ハッとしたり」事象が起きた時

⇒ いずれもクラブ内での共有化が今後の課題

安全規則

【琵琶湖と瀬田川の境界線での航行について】

滋賀県安全対策会議で作成された目安図を掲載しています。

【舵手なし艇の乗艇について】

「10.舵手なし艇乗時におけるステアリング担当者は、操舵技術だけでなく判断能力や空間認知能力がより必要であることから認定を受けた者だけが担当できることとする。認定については安全担当理事へ申請、認定を受けること。」

積極的に受けてほしい。

平日シニア組の冬期乗艇自主ルールについて

練習中に仲間を亡くすという悲しい過去の経験を二度と繰り返したく無いという思いから、平日シニア組は冬期における乗艇自主ルールを策定し、守って頂いています。

(4) ボートに関する情報発信

クラブの月刊機関紙「漕艇通信」（会報）の月末発行、ホームページを活用した情報発信等を行い、クラブの活動に関する最近の情報を提供した。引き続き、「漕艇通信」はホームページ上で公開している。

(5) 選手競技活動

第101回全日本ローイング選手権大会では倶楽部から山口将平/須多敏貴が軽量男子ペアに出場し準優勝の戦績を残した。瀬田漕艇倶楽部としては2013年の全日本選手権以来の表彰台となった。来年はこのペアを中心に全日本選手権での優勝を目指す。もちろん選手の加入、活動状況によっては他種目での選択肢もあり得る。競技志向の会員はぜひとも飛び込んでほしい。

(6) その他の活動

①プロコーチ杉藤氏によるコーチング

年額50万円（年50セッション以上+しがスポーツ大使）を毎月按分する形で、杉藤コーチに支払い。Jrボート教室はレイクスターズ様主催により実施。月、木、土中心に3回/週開催、倶楽部としては用具・施設の提供として協力。

②全員集合日の実施

月例全員集合日を実施した。施設(艇庫、船台、水路)整備、芝刈り、艇整備を中心にオールの再塗装、市民レガッタやヘッ드의事前・事後整理などを行いながらクラブ員相互の懇親がはかれた。

③施設関連実施事項

- ・2023年度実施工事関係
日常のメンテナンスを実施船台張替え、各所不具合対応、備品の購入
本館シャッター鍵交換、アネックス屋根外壁タッチアップ（4月～6月）
水道メータ更新（5月）丸のこ購入（6月）
脚立（10尺）の購入（10月）
- ・建屋、外構の整備計の画検討打合せを実施

④大会への役員派遣

関西ボート連盟、滋賀県ボート協会、京都ボート協会、大阪ボート協会、大津市ボート協会等主催の大会にて、役員活動を行なった。

⑤メディア出演等

2022年12月25日 月刊ローイングNo573「日本代表強化合宿参加選考会、第30回Head of the SETAと併催」

※Head of the SEATAが日本代表強化合宿選考会を兼ねることになったことについて田中代表が紹介

1月 2日 びわ湖放送 BBCニュース 「ボートの初漕ぎ会」 ※初漕ぎ会の瀬田ロー仮装クルーが登場

1月 2日 NHK NHK関西のニュース「ボート競技安全を願い 初漕ぎ会」

※初漕ぎ会の瀬田ロー仮装クルーが登場

1月 2日 関西テレビ放送 関西テレビ報道RUNNER ※初漕ぎ会の瀬田ロー仮装クルーが登場

1月 2日 朝日放送テレビ ABCニュース ※初漕ぎ会の瀬田ロー仮装クルーが登場

1月 2日 毎日放送 MBS NEWS ※初漕ぎ会の瀬田ロー仮装クルーが登場

1月 4日 中日新聞12頁 滋賀面「中学から80代240人ボート初漕ぎ満喫」

※初漕ぎ会の瀬田ロー仮装クルーが登場

3月 滋賀県文化スポーツ部スポーツ課交流推進室 しがスポーツナビ 動画ギャラリー

「ボートとカヌーの違いについて」 ※ボートとカヌーの違いについて紹介

8月28日 中日新聞8頁 滋賀面 「昨年復帰 押谷選手(長浜)圧勝」

※びわ湖レガッタに出漕した押谷さんを紹介

8月28日 中日新聞9頁 滋賀面 「瀬田漕艇倶楽部が準優勝 急造ながら好成績」

※びわ湖レガッタに出漕した混成男子エイトを紹介

2 収益事業活動

朝日レガッタでの運営主体も変わり請負をしたライブストリーミング、大会期間中の出店用地斡旋が出来ず。エルゴ、NK商品中心に売上昨年並み確保。

今期途中より休業届提出済。

2023年活動まとめ

実施時期	実施場所	事業名	倶楽部員 従事人数	受益対象者
2/4(土)	瀬田漕艇倶楽部	Virtual Indoor Rowing		14名参加
2/26(日)	瀬田漕艇倶楽部	定期総会	出席46名 委任32名	正会員133名
4月下旬 (中止)	瀬田川	第36回セタシジミ祭 (ドラゴンボート体験)		
10/8(日)	琵琶湖漕艇場	第18回びわこ市民レガッタ	60名	参加者59クルー (エントリー数)
11/11(土)-12(日)	瀬田川	第31回Head Of The Seta	延べ97名	2日延参加者173クルー (514名)
11/19(日)	琵琶湖漕艇場	日本郵船(株)社内レガッタ (運営サポート)	41名	約400名
5~11月 第2,4日曜日	瀬田漕艇倶楽部 琵琶湖漕艇場	初心者ボート体験教室	6名	一般市民約145名

倶楽部会員数

	会員数 2022年12月31日	1年間の入会数	1年間の退会数	会員数 2023年12月31日
正会員(家族会員)	133 (22)	5 (7)	9 (6)	129(23)
賛助会員	72	2	4	70
合計	205 (22)	7 (7)	12 (6)	199 (23)

2023年度競技活動結果

☆全国インドアローイング大会岐阜大会☆1月22日

女子13歳～15歳 元安(梓) (滋賀レイクスターズ) 8分58秒1
女子40歳～49歳オープン 武良(美) 8分06秒9
男子50歳～59歳軽量級 元安(崇) 8分03秒9
男子70歳以上 安達 7分40秒0
女子70歳以上 長瀬 9分37秒6、中西 10分36秒8

☆2023年2月 2000mエルゴタイムトライアル(シニア・WUG・U23カテゴリー日本代表選手選考)☆

男子 岡田(滋賀レイクスターズ) 6分40秒1 48位
女子 西原(プリントパック) 7分14秒6 12位 体重別%IDTで順位を確定

☆2023バーチャルインドアローイング大会☆2月4日

2000m一般男子 岡田(滋賀レイクスターズ) 6分27秒4 1位
2000m一般女子 西原(プリントパック) 7分22秒3 2位
2000m男子40歳以上 狩谷 7分56秒3 11位、元安(崇) 8分00秒3 13位
2000m男子60歳以上 中村(眞) 8分49秒2 3位
500m女子40歳以上 武良(美) 1分44秒3 1位
リレー500m×4 一般女子 元安(梓) 島田(ひ) 嶋 武良(美) 7分49秒5 9位
リレー500m×4 一般男女混合 西原 井原 山領 山口(将) 6分25秒6 2位

☆大津市民駅伝☆2月5日

一般クラブの部 瀬田漕艇クラブA 4位 (1時間31分48秒)
池端 (1区4.2km 4位 15分57秒) ・ 伊庭 (2区1.6km 3位 6分16秒)
山口将 (3区6.0km 5位 22分49秒) ・ 鈴木 (4区4.4km 2位 16分00秒)
吉村 (5区1.6km 9位 6分38秒) ・ 津村 (6区6.0km 4位 21分36秒)
一般クラブの部 瀬田漕艇クラブB 9位 (1時間47分17秒)
黒田 (1区4.2km 11位 20分35秒) ・ 宇野 (2区1.6km 9位 7分12秒)
今城 (3区6.0km 14位 27分36秒) ・ 木村俊 (4区4.4km 5位 18分14秒)
坂本春 (5区1.6km 10位 7分31秒) ・ 坂本剛 (6区6.0km 9位 26分09秒)

☆日本代表チーム選考レース (SBS) 予選タイムトライアル☆3月6日

男子1× 岡田(滋賀レイクスターズ) 19位 日本代表チーム選考レースに進出
女子1× 西原(プリントパック) 4位 日本代表チーム選考レースに進出

☆びわ湖マラソン☆3月12日

男子総合 林(紘) 3時間11分39秒 691位、盛田(悠) 28km途中棄権

☆日本代表チーム選考レース (SBS) ☆3月16日～18日

男子1× 岡田(滋賀レイクスターズ) C決勝4位 (全体16位)
女子1× 西原(プリントパック) B決勝1位 (全体7位)

☆全国中学校選抜ボート大会☆3月18日～20日

女子1× 元安(梓) (滋賀レイクスターズRC) 予選D組 4位

☆中日本レガッタ☆4月21日～23日

中学生女子2× 元安(梓) (滋賀レイクスターズ) 優勝

☆西日本選手権☆4月29日～30日

男子1× 岡田(滋賀レイクスターズ) 5位、田中(彰) D決勝2位(全体20位)
女子1× 西原(プリントパック) 優勝
男子2- 山口(将) 須多 3位

☆岐阜レガッタ☆4月29日～30日

中学男子1× 安達 予選D組1位
中学女子1× 元安(梓) (滋賀レイクスターズ) 予選A組2位

☆朝日レガッタ☆5月3日～6日

男子1× 岡田(滋賀レイクスターズ) 優勝

- 男子2× 山口(将) 須多 準決勝5組2位
 男子8+ 中村(眞) 狩谷 今城 上原 伊庭 安達 吉村 津村 元安(崇) 4位
 男子ナックルフォア 三登 木所 永田 佐々木(高) 尾崎(準) 予選1組4位
 中学女子4×+ 元安(梓) (BRC・レイクスターズ) 優勝
- ☆大津市民レガッタ☆5月14日
 男子160歳未満 中西(雅) 下村 永田 安達 元安(崇) 1位
 男子160歳以上 太田(弘) 太田(俊) 木所 佐々木(高) 尾崎(準) 1位
 女子160歳未満 中(俊) 中(さ) 三登 竹内 長瀬 1位
 女子160歳以上 太田(弘) 武良(美) 東(暢) 安藤 尾崎(幸) 1位
 女子240歳以上 中西(雅) 木村(祐) 中出 小島 上坂 1位
- ☆滋賀県中学校春季総体☆5月18日
 女子1× 元安(梓) (滋賀レイクスターズ) 2位
- ☆全日本選手権☆5月18日～21日
 男子1× 岡田(滋賀レイクスターズ) 6位
 女子1× 西原(プリントパック) 3位
 軽量級男子2- 山口(将) 須多 準優勝、椎名(ぐんまちゃん) 4位、家村(京都大学医学部) 5位
- ☆ねんりんピック☆5月27日
 男子1× 安達 1位、尾崎(準) 2位
 女子1× 長瀬 1位
- ☆茨戸レガッタ☆6月3日～4日
 フレンドリー種目
 男子1×40歳以上 今城 3位、尾崎(準) 4位
 混成2× 尾崎(準) 尾崎(幸) 3位
- ☆Beach Rowing Sprint Games 2023 Imabari☆6月10日～11日
 CM1× 南條 山口(将) 準決勝A2位
- ☆滋賀県民スポーツ大会 国体予選会 兼 関西選手権中学の部☆6月17日
 成年男子国体選考1× 岡田(滋賀レイクスターズ) 3位、倉本 B決勝6位(全体12位)
 成年男子1× 須多 3位
 関西選手権中学女子1× 元安(梓) (滋賀レイクスターズ) 2位
 男子1×40歳以上 黒田 1位
 女子1×40歳以上 武良(美) 1位、三登 2位
 男子1×60歳以上 安達 1位
 女子1×60歳以上 長瀬 1位
 男子2×60歳以上 佐々木(高) 尾崎(準) 1位
 女子1×60歳以上 尾崎(幸) 盛田(道) 1位、木村(祐) 中西 2位
- ☆京都ボート選手権 兼 国体京都府選考会☆6月18日
 成年男子1× 山口(将) 3位
 成年女子1× 西原(プリントパック) 1位
 成年女子2× 嶋 1位
- ☆全日本社会人選手権☆6月24日～25日
 女子1× 西原(プリントパック) 2位
 女子4× 西原(プリントパック)※他団体と混成 2位
 男子1×60歳以上 安達 B決勝1位(全体7位)
- ☆滋賀県中学校夏季総体☆7月1日
 女子1× 元安(梓) (滋賀レイクスターズ) 2位
- ☆関西選手権☆7月1日～2日
 男子1× 鈴木 準決勝2組4位、湯 準決勝2組5位
 女子1× 西原(プリントパック) 優勝
 男子2- 山口(将) 須多 2位

浜寺杯男子4+ 今村 井上 松元 伊庭 吉村 優勝
 男子1×マスターズ 田中(彰)2位、黒田4位
 ☆国体関東ブロック☆7月8日～9日
 男子4+ 椎名(群馬選抜) 3位 ※鹿児島国体進出
 ☆米子市民レガッタ☆7月9日
 ミックスの部 中村(眞) 木所 東(暢) 武良(美) 武良(誠) 2位
 ☆国体近畿ブロック☆7月16日
 女子1× 西原(京都選抜) 1位 ※鹿児島国体進出
 女子2× 嶋(京都選抜) 3位
 ☆国体四国ブロック☆7月16日
 男子4+ 井原(香川選抜) 3位
 ☆国体中国ブロック☆7月16日
 女子4×+ 三島(島根選抜) 5位
 ☆全日本中学選手権競漕大会☆7月22日～23日
 女子1× 元安(梓)(滋賀レイクスターズ) 準決勝B組5位
 ☆Trebou International Regatta(トレボン インターナショナルレガッタ)☆8月19日～20日
 女子1× 西原(日本シニアナショナルチームC代表) 優勝
 ☆滋賀県ジュニア選手権☆8月19日～21日
 高校女子2× 西川(彦根東高B) 8位
 高1タイムトライアル女子1× 島田(ひ) (大津高) 2位
 高1タイムトライアル女子2× 黄瀬(一)、元安(梓) U-15強化A 4位
 ☆Litomerice International Regatta(リトムニエジツェ インターナショナルレガッタ)☆8月26日～27日
 女子1× 西原(日本シニアナショナルチームC代表) 優勝
 ☆びわ湖レガッタ☆8月26日～27日
 男子2× 三島 南條 3位
 男子8+ 坂本(春) 山口(将) 倉本 鈴木 南條 須多 2位
 男子1×40歳以上 押谷 優勝
 男子1×60歳以上 安達 優勝
 男子8+50歳以上 中村(眞) 黒田 木所 狩谷 古川※ 太田(俊) 尾崎(準) 佐々木(高) 田中(彰) 2位
 女子ナックル60歳以上 太田(弘) 木村(祐) 小島 中出 上坂 優勝
 ☆鹿児島特別国体☆9月21日～24日
 成年女子1× 西原(京都選抜) 優勝
 成年男子2× 岡田(滋賀選抜) 準決勝D組3位、山口将(京都選抜) 敗者復活E組2位
 成年男子4+ 椎名(群馬選抜) 準決勝A組4位
 成年女子4×+ 岩留(鹿児島選抜) 敗者復活A組3位
 ☆全国市町村交流レガッタ☆9月30日～10月1日
 男子160歳未満 尾崎(準) 下村 永田 安達 元安(崇) 総合15位
 女子160歳未満 盛田(道) 三登 坂本(春) 竹内(英) 長瀬 総合7位
 女子160歳以上 太田(弘) 武良(美) 東(暢) 安藤 尾崎(幸) 2位
 ☆京都レガッタ☆10月1日
 男子1× 家村 準決勝C組3位
 マスターズ男子1× 狩谷 優勝、押谷 2位、鈴木(雅) 3位、今城 4位
 男子2× 鈴木(雅) (京都RC) 準決勝A組6位
 混成2× 三島 南條 2位、エイモス ※他団体と混成 4位、黒田 嶋 5位
 男子4+ 井上(貴) 松元 伊庭 吉村 杉藤(洋) 4位
 男子8+ 山口(将) 南條 西原 須多 家村 井原 鈴木(順) ※龍谷大と混成 優勝
 ☆全日本新人選手権☆10月13日～15日
 男子2× 井上(貴) 松元 敗者復活D組3位、伊庭 吉村 敗者復活E組4位
 ☆Head of the JINZU☆11月4日

オープン男子(1×) 安達 2位

☆Head Of The Seta☆11月11日～12日

男子1×一般 家村 5位

女子1×一般 西原(プリントパック) 2位

男子1×60歳代 植田 4位

女子1×60歳代 中出 1位

男子1×70歳代 安達 1位

女子1×70歳代 長瀬 1位

男子4+ 山口(将) 須多(魚崎RC) 2位

男子2× 井上(貴) 松元 4位、植田(紅臈会) 12位

武良(誠)(キラールホエール) 14位、尾崎(準) 尾崎(幸) 15位

女子2× 中西 太田(弘) 3位

☆ツール・ド・おきなわ☆11月12日

市民レース100km 南條 27位

☆Head of the ARA☆11月25日

強化選考女子2- 西原(日本ローイング協会) 3位

男子1×一般 岡田(RA仙台) 5位、椎名(Swift Racing Japan) 21位

☆かいつぶりレガッタ☆11月25日

女子シニアマスターズ 太田(弘) 木村(祐) 小島 中西 上坂 1位

ビギナーミックス 太田(弘) 東(暢) 林(生) 津村※他団体と混成 2位

[2] 2023年度（令和5年度）会計報告

1.2023年度（令和5年度）「特定非営利活動に係わる事業会計」活動計算書 (単位：円)

令和5年度「特定非営利活動に係わる事業会計」活動計算書

令和5年1月1日から令和5年12月31日まで

特定非営利活動法人 瀬田漕艇倶楽部

(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益の部		
1 受取会費		
会費	5,007,500	
入会金	150,000	5,157,500
2 受取寄付金		
賛助金(個人)	430,000	
賛助金(法人)	500,000	
一般寄付金	20,000	950,000
3 受取助成金		
受取補助金	0	0
4 事業収益		
自主事業収益	2,373,380	
受託事業収益	1,250,000	3,623,380
5 その他収益		
受取利息	444	
雑収益	522,440	522,884
経常収益 計		10,253,764
II 経常費用の部		
1 事業費		
給料手当	202,350	
通勤費	7,200	
水道光熱費	565,814	
保険料	197,896	
減価償却費	2,659,476	
消耗品費	566,541	
保全費	550,749	
施設費	184,800	
福利厚生費	134,805	
広告費	29,385	
賃料	225,220	
交通費	62,067	
通信費	10,864	
賞品代	213,250	
租税公課	758,200	
強化費	269,226	
選手登録費	100,000	
支払手数料	598,664	7,336,507
2 管理費		
給料手当	472,150	
通勤費	16,800	
水道光熱費	28,201	
保険料	39,153	
減価償却費	231,888	
消耗品費	87,891	
会誌発行費	194,736	
会議費	11,733	
交際費	7,500	
通信運搬費	10,504	
諸会費	4,200	1,104,756
経常費用 計		8,441,263
当期経常増減額		1,812,501
III 経常外収益の部		
経常外収益 計		0
IV 経常外費用の部		
固定資産除却損	0	
経常外費用 計		0
税引前当期正味財産増減額		1,812,501
法人税、住民税及び事業税		0
当期正味財産増加額		1,812,501
前期繰越正味財産額		96,772,473
次期繰越正味財産額		98,584,974

※別紙1 令和5年度「特定非営利活動に係わる事業会計」活動計算書 参照

令和5年度「特定非営利活動に係わる事業会計」貸借対照表

令和5年12月31日現在

特定非営利活動法人 瀬田漕艇倶楽部

（単位：円）

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	270,456	
普通預金	32,817,371	
流動資産 合計		33,087,827
2 固定資産		
建物	24,542,662	
構築物	1,657,813	
艇	23	
備品	63,181	
土地	24,000,000	
一括償却資産	66,668	
固定資産 合計		50,330,347
3 投資その他の資産		
艇庫積立金	15,033,650	
長期前払費用	200,840	
投資その他の資産 合計		15,234,490
資産合計		98,652,664
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	41,666	
預り金	26,024	
仮受金	0	
流動負債 合計		67,690
2 固定負債		
固定負債 合計		0
負債合計		67,690
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産額		96,772,473
当期正味財産増加額		1,812,501
正味財産 合計		98,584,974
負債及び正味財産 合計		98,652,664

令和5年度「収益事業会計」活動計算書

令和5年1月1日から令和5年12月31日まで

特定非営利活動法人 瀬田漕艇倶楽部

（単位：円）

科 目	金 額		
I 経常収益の部			
1 事業収益			
販売、サービス事業収入	922,749	922,749	
2 その他の収益			
預金利息 他	8	8	
経常収益 計			922,757
II 経常費用の部			
1 事業費			
事業収益原価	789,070	789,070	
2 管理費			
雑給	0		
事務通信費	118,193		
その他の経費	2,310	120,503	
経常費用 計			909,573
当期経常増減額			13,184
III 経常外費用の部			
棚卸資産除外損	2,210		2,210
税引前当期正味財産増減額			10,974
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増加額			10,974
前期繰越正味財産額			5,246,819
次期繰越正味財産額			5,257,793

※別紙2 収益事業会計報告書 参照

令和5年度「収益事業会計」貸借対照表

令和5年12月31日現在

特定非営利活動法人 瀬田漕艇倶楽部

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	198,667		
普通預金	4,968,826		
在庫商品	90,300		
流動資産 合計		5,257,793	
資産 合計			5,257,793
II 負債の部			
1 流動負債			
未払法人税等	0		
流動負債 合計		0	
負債 合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産額		5,246,819	
当期正味財産増加額		10,974	
正味財産 合計			5,257,793
負債及び正味財産 合計			5,257,793

5. 2023年度（令和5年度） 財産目録

令和5年度 財産目録

令和5年12月31日現在

特定非営利活動法人 瀬田漕艇倶楽部
(単位：円)

科 目 ・ 摘 要	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金・預金		
現金 (一般)	270,456	
現金 (収益)	198,667	
普通預金 滋賀銀行 石山支店 No.198794 (一般)	11,877,883	
普通預金 滋賀銀行 瀬田支店 No.522662 (特別)	2,996,157	
普通預金 滋賀銀行 瀬田支店 No.521114 (一般)	0	
普通預金 滋賀銀行 石山支店 No.198783 (収益)	319,667	
郵便貯金 普通通帳 (一般)	3,921,066	
郵便貯金 大会受付 (一般)	4,706,567	
郵便貯金 会費 (一般)	8,078,198	
郵便貯金 事業別会計 (一般)	1,237,500	
郵便貯金 (収益)	4,649,159	
在庫商品(販売商品在庫高)	90,300	
流動資産 合計		38,345,620
2 固定資産		
固定資産		
艇庫積立金	15,033,650	
建物	24,542,662	
構築物	1,657,813	
艇	23	
備品	63,181	
土地	24,000,000	
一括償却資産	66,668	
長期前払費用(火災保険料他)	200,840	
固定資産 合計		65,564,837
資産合計		103,910,457
II 負債の部		
未払金	41,666	
未払法人税等	0	
預り金	26,024	
借受金	0	
流動負債 合計		67,690
負債合計		67,690
正味財産		103,842,767

[3] 2023年度監査報告

監事 竹内英子

2023年度はコロナ禍前と変わらない活動に戻り、日々のローイング活動とレースへの参加や倶楽部主催の事業へのスタッフ参加、毎月の全員集合日での作業等に多くの会員が集まり、協力して施設の清掃や修繕等に汗を流していただきました。活動を活発にすると施設内の清掃やゴミの始末は必要になってきますが、会員の協力によって美化活動を推進していただきました。ただ、残念なのは、そういった作業をする人が固定化してきている事です。倶楽部を利用する時はすべての会員が美化意識を持ち、お互い協力して取り組んでいただきたい。全員集合日が作業だけの取り組みでなく、楽しい集まりになると会員同士の交流が育まれると思います。3年後には創部50周年を迎えますが、さらにその後50年後の100周年を見据えて瀬田漕艇倶楽部が存続するように多世代のメンバーが生き生きと活躍している姿を希望します。

◎競技スポーツについて

昨年、倶楽部にとって悲願である全日本選手権でのメダル獲得が出来た事は、年間を通じた日々の鍛錬の成果だと思えます。ただ、彼らに続く選手層が皆無なのが残念です。仕事や学業との両立が容易とは言いませんが、ボートに打ち込んだ時間は将来の自分に糧になると信じています。そして、その姿を応援させてください。

◎生涯スポーツについて

昨年からの冬場の水位低下による乗艇不可の状態が続き、エルゴ練習中心になっています。日によって違いはありますが、エルゴを全部使用しての活動や、マスターズの皆さんのエネルギーな活躍を期待したい。陸上でのトレーニングと水上での練習とのメリハリのある組み合わせを積極的に取り入れ、その後のお茶会などを通して親睦や情報交換をしてエンジョイローイングを進めてください。

◎財務について

倶楽部収入の多くは会費収入が大きく占めるが、今までの収益事業から、三大事業へ、そして、外部のレガッタ支援へと重点が変わりつつあるがボート界への普及事業への貢献という事で会員がサポートすることはやりがいを感じられると思う。今までの倶楽部運営では支出はできるだけ減らし、会員の作業で会費も廉価にして、新しい人が入会しやすいように門戸を開いてきた伝統を今後も継続できるように収支バランスをどう成立させるか、会員全員で更なる知恵と協力体制を期待したい。

監事(会計) 今村拓也

- 1 ようやく正常な日常を取り戻すことができ、クラブの活動も正常化しました。びわこ市民レガッタとヘッドオブ瀬田に加え、他団体の社内レガッタや体験会など、普及活動を行いつつも当クラブの収益にも繋がるイベントも実施でき、瀬田漕艇倶楽部の新たな可能性を見つけることができた1年になったと思えます。
収益事業は休止ということになりましたが、クラブ本来の目的に沿った事業で財源確保に繋がる道が見えたことは喜ばしいことであると考えます。
- 2 いよいよ周年行事に向けて、具体的な動きが始まっていきます。特に、建物や棧橋の、大規模な修繕等を計画されることもあり、この財源確保についてはクラブ全員で知恵を出し合い、前に進めていかなければいけないと考えます。
- 3 前任者からの引継事項でありました計算書類の記載について、会計担当者のご尽力により、会計書類の記載方法が県指定のものに改善されました。また、NPO法人の会計は非常に難しい部分がありますが、2023年度途中より、税務の専門家を顧問に迎え入れることになりました。大きな不安要素が消え、クラブとしては大きく前進できたものと思えます。今後は、会計ソフトのクラウド化なども進め、担当者の負担を減らし、より合理的に進めていければと考えます。

[4] 2024年度役員（2022年改選、任期2年）

NPO法人瀬田漕艇倶楽部 理事および監事

理事（代表）	田中 彰
理事（専務）	狩谷 悟史
理事（専務・50周年準備）	坂本 春奈
理事（保全）	中村 眞
理事（強化）	山口 将平
理事（広報）	松本 穂高
理事（施設）	中 俊久
理事（財務）	黒田 士朗
理事（普及育成）	武良 美恵
理事（会計）	今城 律雄
理事（安全）	上原 正嗣
監事（事業）	竹内 英子
監事（会計）	太田 俊二

実行委員長及び審判長

びわこ市民レガッタ	中村 眞
Head Of The Seta	黒田 士朗
コーチセミナー	坂本 春奈
審判長	山崎 有紀

事務局

倶楽部事務担当 社会貢献事業担当	上坂 操・小島 睦 鶴瀬 正樹
---------------------	--------------------

あと3年で1977年に創設された瀬田漕艇倶楽部は50周年を迎えます。総合型地域スポーツクラブNPO法人としてこれからの時代にも私たちが日本中のお手本であり続けるために、また次世代に自信をもって倶楽部を残すために、本年度より50周年記念事業の実行委員会をスタートさせます。先人が構築してきた財産やノウハウを適切に引き継ぎながら、老若男女が笑顔で倶楽部の運営にかかわる仕組み作りを再構築する1年間に挑戦します。ご理解・ご協力の程お願いいたします。

[5]活動計画（案）

将来のあるべき姿

1. 全体 ミズノスポーツメントール賞の受賞団体として、また全国の総合型地域スポーツクラブNPO法人のお手本として、倶楽部創設50周年を視野に入れながら「チャンピオンクルーから日曜スカラーまで」という倶楽部設立理念の推進に一層力を入れる。そのためには各会員が世代を超えて充実した倶楽部ライフを満喫するために、今の時代に沿った進化・変化に果敢に取り組むことを意識したい。具体的にはヒトの育成や競技の推進普及、地域貢献・地域密着を新たに実現する拠点であることを会員一丸となって目指したい。結果としてスポーツマン（ウーマン）シッパのもと、会員や家族のみならず地域市民や、中央競技団体・国内外クラブとの交流の場としての機能充実を目指したい。
2. 安全 受傷事故絶対ゼロ。
3. 保全 クラブの設備・備品はクラブ員全員の共有物(持ち物)である事をしっかりと認識し、各クラブ員が可能な範囲で整備・修理あるいは故障や不具合に対する予防措置を自然体で行うことができる体制を目指す。
4. 施設 会員が自然と交流できる空間作り、近隣からも愛される環境整備、国内外に評価される施設作り。
5. 事務 効率的な事務業務。組織として運営できる体制にする。
6. 特別 びわこ市民レガッタ、Head Of The Seta、マシンローイング大会を運営し、150万円の利益を得る。
また、行政や地域諸団体とも連携し、大津・瀬田川の風物詩となるイベントに発展させる。
7. 普及 季節毎に水上スポーツの普及イベントを開催する。
8. 収益 年間100万円の利益を得る。
9. 財務 艇購入・艇庫改修のための積立を毎年確保する。
10. 広報 月一回の会報発行を継続。わかりやすいシンプルなホームページを提供。
11. 活動 (1)60人以上のアクティブメンバー(月に4回以上倶楽部に来る)が活動している。
(2)ボート常任コーチの設置とともに、ボート全日本選手権最終日に残る。
(3)一般市民が水上スポーツに触れ合う機会を提供する。

2024年度の具体的な活動計画

1. 全体 倶楽部の理念に沿った創設50周年記念事業の枠組みを完成させる。特に長年の課題であった船台更新、艇庫本館のリフォーム、艇の再整備を始めとした倶楽部施設の更新を検討し、倶楽部の近未来像を会員一丸となって作り上げたい。また倶楽部事業を起点に世代を超えた会員間の交流や他団体との交流を一層の力を入れて、昨年度には未達となった若い世代の新規入会、および選手（シニアチーム）の充実を全力で目指す。運営面では新たな事業計画の立案や倶楽部体制についてのリニューアルを進め、特に財務関係では積極的な外部資金の調達を目指す仕組みを作りたい。
2. 安全 (1)安全規則の随時見直し（初版2005年）。
(2)安全講習会実施、沈回復の練習会の実施。
(3)インシデント・アクシデントレポート作成の推進。
3. 保全 クラブの設備・備品はクラブ員全員の持ち物であるということをあらためて認識してもらい、整理整頓・整備・修理が皆で行えるような仕組みづくり・環境づくり・情報共有の在り方を模索する。24年度は特にオールの整備を行っていききたい。
4. 施設 老朽化した所の対応、使い勝手を見直した修繕計画と備品購入計画。
5. 事務 各担当者との連携による円滑な事務作業。事務局のあり方検討とより良い倶楽部運営への貢献策
6. 特別 びわこ市民レガッタの参加者100クルー(500人)以上。地元企業、自治体、自治会から募る。
Head Of The Setaの参加者600人以上。各ボート団体への個別交渉。
7. 普及 ボート・ドラゴンボート・カヌーの体験教室をクラブ全体で運営し、年200人を目標とする。新たな普及活動を検討・実行していく。
8. 収益 現在休業中。
再会目指す。
9. 財務 会計フローの整理・定着化。各理事との連携を強化する。
10. 広報 月一回の確実な会報発行。
11. 活動 倶楽部運営収支96万円、NPO事業収支290万円、収益事業収支20万円の計310万円の現金収支を

確保するため、各方面での工夫だけでなく新たな施策を計画・実行する。
選手チームは全日本選手権でのメダル獲得を目標としながらも、次世代を担う選手層のメンバー獲得にも取り組む。競技力強化、魅力ある選手チーム作りを一層推進する。また各種コーチセミナーや、地域および他団体との交流の機会を積極的に展開する。

[6] 2024年度NPO法人瀬田漕艇倶楽部 年間事業計画 (案)

月	日	事業名	大会日程
1	28 (日)	全員集合日	初漕会(1/2)
2	25 (日)	定期総会	2024 パーチャルインドアローイング大会(2/3) 大津市民駅伝 (2/11)
3	3 (日) 24 (日)	全員集合日 全員集合日	全国高等学校選抜ボート大会 (3/22-24)
4	27 (土) 28 (日)	ドラゴンボート体験 (セタジミ祭) 全員集合日	中日本レガッタ(4/19-21) 西日本選手権(4/27-28)
5	26 (日)	朝日レガッタコーチセミナー 全員集合日	朝日レガッタ (5/3-6) 大津市民レガッタ(5/12) 滋賀県中学校春季総体 (5/16) 京都府高校総体(5/18) 滋賀県高校春季総体 (5/25-26) 全日本社会人ローイング選手権(5/25-26)
6	23 (日)	全員集合日	滋賀県国スポ予選・県スポ大会 (6/1) 関西選手権競漕大会中学の部(6/15-16) 京都ボート選手権兼国体予選 (6/16) 全日本ローイング選手権(6/20-23) 大阪府国スポ予選
7	28 (日)	琵琶湖一斉清掃 全員集合日	関西選手権競漕大会 (7/6-7) 滋賀県中学夏季総体 (7/6-7) 全日本マスターズレガッタ(7/6-7) 関西学生新人レガッタ(7/13) 全日本中学選手権(7/27-28) 国スポ近畿ブロック ボート競技(7/22)
8	25 (日)	全員集合日	全日本高等学校選手権競漕大会(8/9-12) びわ湖レガッタ(8/24-25) びわこペーロン大会(8/31)
9	22 (日) 29 (日)	びわこ市民レガッタ2024 事前練習会 全員集合日 びわこ市民レガッタ2024	全日本大学選手権大会(9/4-8) オックスフォード盾レガッタ(9/7-8) 滋賀県ジュニア選手権 (9/21-22) 京都府高校ボート選手権(9/22) 国スポ ボート競技会(9/14-17) びわこ市民レガッタ (9/29) 全国市町村交流レガッタ (未定) 大阪シティーレガッタ (未定)
10	27 (日)	全員集合日	京都レガッタ(10/13) 全日本新人ローイング選手権(10/18-20) 滋賀県中学秋季総体(10/18) 滋賀県高体連秋季大会 (10/19) TOKYO2020記念レガッタ2024(10/27)
11	9(土)-10(日) 24 (日)	Head Of The Seta 2024 全員集合日	びわ湖かいつぶりレガッタ(11/2) 関西学生秋季選手権(11/上旬) Head Of The Seta 2024(11/9-10) Head of The Tsubata/ Jinzu Head of The ARA
12	22 (日)	クリスマスパーティー 全員集合日	滋賀・京都ボート協会安全講習会

初心者ボート体験教室 : 5~11月第2,4日曜日10:00~ アダルトチーム練習会 : 毎週土日 07:45~
上記日程は変更する場合があります。変更の場合は会報およびメーリングリストにて連絡します。